

にこにこ きらきら ゆめにむかって



おともがわ

学校報 No.30

保護者版

平成 30 年 10 月 11 日

みんなで育む豊かな心・健やかな体・確かな学力

後期の始まりにあたって

季節の変わり目で朝夕は大分涼しくなりました。私は普段の不摂生がたたりに、9 月末頃から体調を崩してしまいました。また、この 3 日から 5 日までは全国校長会のために函館に出張していたため、各種行事を欠席してしまい大変申し訳なく思っています。5 日の前期終業式では、私の代わりに教頭先生から子どもたちにお話をいただきました。物事にあらん限りの力で取り組む「全力」、失敗を恐れずに前に進もうとする「前力」、周りの全ての人に気遣いをする「善力」についてお話をくださったそうです。3つの「ぜんりよく」を時々思い出し、後期も自分の目標に向かってがんばってほしいと思います。

終業式には 1・3・5 年生、そして今日の始業式では 2・4・6 年生が発表してくれました。紹介します。

まずは、終業式での発表です。

<1 年生の発表>

ぼくたち わたしたちは にゆうがくしてから できるようになったことや がんばったことを はっぴょうします。

「ぼくは〇〇ができるようになりました」「わたしは〇〇ができるようになりました」（一人一人が発表）

4 がつから うちおともしょうがっこうの なかまになって みなさんとすごし とてもたのしかったです。

こうきも げんきにがんばりますので よろしくおねがいします。

（一人一人の役割分担を決めて、全員で発表してくれたそうです。）

<3 年 小〇〇〇さんの発表>

ぼくが前期にがんばったことは、二つあります。

一つ目は、授業で自分から進んで手をあげたことです。前は、答えに自信がなかったり、はずかしかったりして、なかなか手をあげることができませんでした。でも、勇気を出して発表しているうちに、自分から発表できるようになりました。みんなの前で発表するのは、まだ少しはずかしいけれど、これからも進んで発表したいです。

二つ目は、毎日給食をのこさず食べたことです。苦手なメニューもあったけれど、のこさずに食べました。これからのこさずに食べて、元気にすごしたいです。

後期にがんばりたいことは、チャレンジテストです。ぼくは漢字が苦手なので、わすれないようにくりかえし勉強したいです。そして、百点を目指します。

あと、図書館で長い文章の本をかりて読みたいです。これまでは長い文章をあまり読んでいませんでしたが、長い文章を読むとたくさんを知ることができるので、がんばりたいです。

後期も前期と同じくらいがんばって、もっと成長していきたいです。

<5 年 東〇〇〇〇さんの発表>

五年生になって、半分が過ぎました。五年生は、とても大変だということが分かりました。その中で成長したことが二つあります。

一つ目は、委員会のことです。私は、全校たよれる内小っ子委員会になりました。たくさん仕事があつて、とてもいそがしかったです。次から次へとイベントがあり、そのための計画や準備をしました。学校だけでは間に合わなくて、家でお便りを書いたりしました。初めは大変だと思っていたけれど、今では、内小友小学校をよくするためにがんばりたいと思うようになりました。

二つ目は、勉強中の聞き方です。五年生では、しっかり声を出して反応したりうなずいたりできるようになりました。そうすると、話し手が「聞いてくれたんだな」とホッとします。やっぱり反応することは大切だということが分かりました。これからも、自分の考えや友達の考えをたくさん伝え合いたいと思います。

六年生と一緒に、大変なことを乗り越えてきた前期は、とても楽しかったです。大変なことをがんばると、スッキリして「次もがんばろう」という気持ちになります。このことを忘れずに、後期も全校のためにがんばりたいです。

次は、今日の始業式での発表です。

<2年 三〇〇〇さんの発表 後期がんばりたいこと>

前期は、チャレンジ学年のみんなと力いっぱいがんばったうんどう会やフィールドワークが心にのこっています。

今日から後期がスタートします。ぼくは後期にがんばりたいことが二つあります。

一つ目は、かけざんのことです。かけざんといえば、あこがれの九九です。どのだんもスラスラ言えるように、気合を入れて何十回もれんしゅうしたいと思います。

二つ目は、かん字のことです。下の教科書やかん字ドリルを見てみたら、今までよりむずかしそうなので、ていねいにおぼえて正しく書きたいです。

ぼくたちのクラスは、「げんきいっぱい、えがおいっぱい、なんでもチャレンジ二年生」というめあてをもって生活しています。だれかがこまっていたら、だまっていなくて声をかけて手つだってあげるなかよしのクラスです。だから、新しいべんきょうがむずかしそうでも、みんなといっしょならチャレンジできます。これからも、もっとたすけ合えるクラスになって、三年生にむけてがんばっていききたいです。これで発表をおわります。

<4年 高〇〇〇さんの発表 ぼくの後期のめあて>

ぼくの前期のめあては、きりりノートを毎月九十五ページやることでした。毎日がんばりました。でも、あとすこし足りませんでした。そこで、後期は、きりりノートを毎月八十五ページがんばることにします。どうして八十五ページかという、前期にがんばったページ数を計算すると、毎月八十ページくらいできていたからです。だから、すこしふやして八十五ページと考えました。前期の九十五ページより少ないですがこんどこそたっせいしたいです。

後期のめあてが、もう一つあります。それは、時間をまもって生活することです。休み時間にみんなで楽しく遊んでいると、時計を見るのをわすれてしまうことがありました。だから、後期はみんなで声をかけあって時間をたしかめるようにしたいです。

後期はめあてがたっせいできるように、あきらめないでがんばりたいです。

<6年 川〇〇〇〇さんの発表 中学生に向けて>

六年生になり、最高学年として特に力を入れたのは、縦割りそうじと委員会の仕事です。

縦割りそうじでは、今まで下級生に対して指示をするだけでした。でも、「難儀なほうを選ぶ自分になろう」と目標を立て、指示だけでなく、ごみ捨て、水捨てなど積極的に取り組みました。縦割りグループで相談するときには、進んで声をかけて活動しました。

委員会活動では、例えばポスター作りのときに、低学年でも分かるよう濃い色やひらがなを使うように五年生にアドバイスしました。委員会でも自分のことだけでなく、五年生や全校のみんなのことを考えて行動できたことが、大きく成長した点だと思います。

後期は、前期のこうしがんばりを続けながら、今度は自分をきたえることに力を入れていきたいと思っています。

特にがんばりたいと思っていることは、授業中に積極的に手を挙げることです。最近の自分は、勇気が出せずに手を挙げるのが少なくなっているように思います。だから、だれも手を挙げていないときでも、勇気を出して自分の考えを発信したいと思います。

また、中学生に向けて勉強の仕方も見直していきたいと思っています。今までハートノートでは、漢字と計算を中心に取り組んできました。後期は、漢字と計算だけでなく、テストに向けて、その教科を勉強するような習慣もつけていきたいと思っています。大事なところは、マーカーを引いて覚えるための工夫もしていきたいと思っています。

小学校生活も最後の学期がスタートします。これからの半年は、中学生に向けて、生活も学習も小学校生活のまとめをしっかりとできるよう、がんばりたいと思います。

「みんなのための生活」「自分のための勉強」

このキーワードを頭に入れてがんばります。

どの発表もとても立派でした。目標に向かって「ぜんりよく」でいきましょう！